



The Y's Men's Club of Kyoto
ZERO
since 2010

8

2012
AUGUST

8月10日発行
第3巻 第2号 通巻21号

Bulletin
CHARTERED 2010



◆今月の聖句 マタイによる福音書5章9節

平和を実現する人々は、幸いである。
その人たちは神の子と呼ばれる。

クラブ会長主題：明日も笑顔で ～全てのことが 意味のあること～ クラブ会長：藤井隆

国際会長主題："Be the light of the world" "世を照らす光となろう"

国際会長：Philip Mathai(インド)

アジアエリア会長主題："Years bring wisdom" "歳月はY'sをワイズ(賢者)にする"

アジア会長：Oliver Wu(台湾)

西日本区理事主題："先頭に立ってワイズの光を輝かそう クラブで、地域で、国際社会で" 西日本区理事：成瀬晃三

京都部部长主題：『出あい』『ふれあい』『磨きあい』京都部部长：船木順司(京都トップス)



河村 栄二

7月に入りZEROクラブも第三期を迎えることができました。

チャーターナイトから今日に至るまで決して平坦な道のりではありませんでした。

心が折れてしまいそうな時もZEROクラブのメンバー全員で力を合わせる事が

出来たからこそ乗り越えて来れたのだと思っています。

今期、会長代行を受けさせて頂きましたが、私自身ワイズメンズクラブについて何も

分かっていないことに気付き勉強させて頂くチャンスを与えて頂いたのだと思っています。

肩書きだけで終わってしまわないように頑張りますので此れからも宜しく願い申し上げます。

サバエワーク

平成24年7月8日(日)

7月8日(日)近江八幡のYMCAサバエキャンプ場の開設ワークに、在京各クラブのメンバーとともにZEROからは佐古田ファミリーの可愛い助っ人を加え総勢11名が参加し汗を流してきました。

初めてのサバエでのワーク、楽しかったです。

ボランティアリーダーの学生さん達の作ってくれたカレーもとってもおいしかった。

ここを訪れる子ども達のために、ZEROクラブは何が出来るのか。

夢のふくらむ一日でした。

高倉Y





7月第1例会「定時総会」

平成24年7月12日

ZEROクラブは三期目となりました。

会長の藤井ワイズがお体の具合でいましばらくお休みになるという中でのキックオフとなりましたが、会長代行の河村副会長の「藤井会長が戻ってこられるまでの間、しっかりクラブを盛り上げていきましょう。」という力強い挨拶、各委員長が三期目を迎える意気込みがメンバーに伝わり、いい形でスタートがきれたのではないかと思います。

チャーターから今まで高倉会長期に徐々に成長してきたクラブが新体制のもとでワイズメンズクラブとしてしっかりとステップアップするような予感がする定時総会でした。 宇佐美Y



7月第2例会「ZERO・COOL!」

平成24年7月26日(木)



ZEROクラブの皆様!

部長公式訪問にお招きいただき有難うございました。

また一番気楽な納涼例会ですのでホッとする時間を過ごさせて頂きました事に感謝申し上げます。

高雄の地での納涼例会ということで、やはり少しヒンヤリして気持ち良く過ごせました。

ここでお風呂でも入り、また冷えたビールを少し飲みながら川辺で涼むなんてことを勝手に想像いたしました。

ZEROクラブ様への訪問は、チャーター以来の事で、様々なクラブ様あるなかで若くて勢いがあるのがヒシヒシと感じられました。

会を楽しむためには、気の合う仲間と時間を共有でき、そのためにはいつも会をリフレッシュさせる事が必要なのだとあらためて感じる機会でもありました。

もっといろんな方とお話できればもっと楽しかったと後悔しております。次の機会には、もっとお話しできればと思います。

少し広報より宣伝いたします。

10月エイズ文化フォーラムが開催されます。地域奉仕事業と協賛でみやびクラブ様のサポートをいたしますので、ワイズメンズクラブを少しでもアピールいたします。

そして11月ワイズデーにて、YMCAの学園祭と同時開催であります。数クラブ様のご協力を得て実施します。

是非お越しいただいて、ワイズメンズクラブの活動の一部を多くの方に知っていただきたく思います。

まだまだ暑い日が続きますので、お体をご自愛くださいませ、三科主査

7月第二例会は高尾観光ホテルでの納涼例会となった。ホテルのご好意でバスを出していただき、暑さでうだる街中から川風の心地よい高尾へと向かった。

バスを降りるや「やっぱり涼しいなあ」との声。そして皆で川床へ。納涼例会ということでメンバーのみならずメネット・コメット・ゲストも沢山の参加。加えて部長の公式訪問例会でもあり、とてもにぎやかな例会となった。

おいしいお料理に舌鼓を打ち、宴も盛り上がったところでメインプログラムの「本当にあった怖い話」の始まり始まりとなった。

前座(?)を務めたのは河村副会長。

怖かったのか、怖くなかったのかは……?!

真打は、女流作家でもある三輪チサさんのお話。私はこの手の話が最大の苦手ということでこっそりお話の輪からエスケープ! 困ってお話の中身は?ゴメンナサイ!ともあれ大いに盛り上がった模様! 身体も心もひんやりさせてもらえた文字通りの納涼例会となった。お骨折りいただいたドライバー委員会の皆さん、そして尽力してくれた岸田君に感謝です。

そしておなかも心も満腹でバスに揺られて皆帰路についた。

(はずですが多くの皆さん熱い街中へと消えて行かれました。

ああ〜怖!)

西村Y

92年前の六甲山において、YMCAが日本で組織的な教育キャンプをはじめました。それ以来多くの青少年を育んできました。今夏も全国各地で幼児、小学生から高齢者の方々のキャンプなど多くのキャンプが運営されています。

病気の子どもたち、障がいのある子どもたち、東日本大震災による被災者の方々のキャンプも多く行われています。

更にはYMCAのキャンプ施設は勿論、行政機関からの指定管理者としての施設運営という立場でキャンプの受け入れも行われています。また、地域の団体や行政機関、企業の方々との共同事業としてキャンプを行っています。

そこでは、自然体験活動を中心とした活動を通して、「人間関係の大切さ」「自分を大切にすること」「命の大切さ」など多くのことを学びます。そしてYMCAの大きな特長として、参加したメンバーだけでなく、リーダーをはじめ様々なボランティアの方々を巻き込んだ形で多くのことを得て成長します。

この春に実施した全国のキャンプの一つで、被災しご両親を亡くした高校生が、同じくご両親を亡くした小学生の女の子がキャンプで元気で前向きでいることに励まされ、それまでこの一年間、いわゆる「保健室登校」で、前に進むことができなかったのが、「この1学期は積極的になり、勉強にも励み見違えるようです。」と学校の先生から、そのキャンプを担当したスタッフに感謝と報告のお電話をくださったそうです。

このようにキャンプには大きな可能性があります。

これからもその可能性や成長、感動の一端を少しでも皆さんにお伝えてできればと思いますと同時に、お支えいただいていますことに心から感謝いたします。

京都YMCA 総主事 神崎清一



HAPPY BIRTHDAY!

8月20日 高倉英理



HAPPY ANNIVERSARY!

8月15日 加藤俊明&圭子

〈強化月間〉8月 Youth Activities

将来のYMCAとワイズを担うユースを育てるための活動と支援をしましょう。
下村明子Yサ・ユース事業主任(名古屋グランパス)

7月例会出席

第1例会 メンバー	17/24名	第2例会 メンバー	17/24名
		メネット	5名
		コメット	4名
		ゲスト	10名
月間出席者数	21名/月間出席率	87.5%	

TOF・CS・FF

TOF	0 pt
CS	0 pt
FF	0 pt

ニコニコ

7月	5,000円
累計	5,000円

ファンド

7月	0円
累計	0円

会長	藤井隆
副会長	竹園憲二 河村栄二
書記	井上晴雄
書記	高倉英理
会計	熊本祐滉